

直売所で買った、地元の食材を食べよう！



地元で買った旬の食材を食べることは、カラダにも環境にも良いことです。

J Aグループのホームページを見てみると、新潟県内に52か所、新潟市内には16か所の直売所があるそうです。あくまでも、J Aだけでこれだけの数があるわけですから、民間経営のものも入れれば、相当な数の直売所がありそうですね。

さて、J Aの直売所のリストを見ていると、J A新潟みらいの「いっぺこーと」、J A新潟市の「いくとぴあキラマーケット」のような大規模なお店もありますが、小規模なお店もたくさんあります。J A越後中央の「茶豆の里」などは冬期間お休みとなっているので、要注意です。

地元の農家さん支援のため、また輸送にかかる燃料の二酸化炭素削減のために、ぜひ地元の食材を優先して買いましょう！

「Eco列車でいこう！」～第115回～ クリスマスの江の島！

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！)



12月23日(日)。青春18キップ片手に始発に乗り、長岡、水上、高崎で乗り換えて大船へ。横須賀線に入ると住宅地が途切れ、竹林や寺院が現れて「鎌倉」。さすが古都だなと思うと、まもなく「鎌倉」に到着した。

時刻は13時過ぎ。窓口で「鎌倉・江の島アフタヌーンパス」を購入し、「江ノ電」に乗車した。このパスは、江ノ電乗り放題+江の島エスカー(エスカレーター)+庭園+展望台入場券がセットになっている。

あいにくの空模様だが、雨の鎌倉は風情がある。「長谷」「極楽寺」など気になる駅が続くが、5つ目の「稲村ヶ崎」で下車。海辺の道に出て雨に煙る「江の島」を遠望しながら、しばらく散策する。さすがは湘南。ハワイのようなダイナーがあったり、サーファーがいたり、にぎやかだ。道端には夏みかんの木。温暖な証拠だ。

「七里ガ浜」から坂を登ってイタリアンレストランで昼食にした。晴れていれば、サンデッキから江の島を見ながら食事ができる店だが、あいにくの雨で室内での食事となった。それでもビールを飲んで、地元産の「しらすパスタ」を食べるとテンションがあがる。1時間以上のんびりした。

七里ガ浜駅に戻って、ふたたび江ノ電に乗車。「江の島」駅に着いたのは16時過ぎ。駅前にはお土産物屋や飲食店が軒を連ねている。歩くこと20分で、江の島に上陸。長い行列ができていなのは名物「たこせんべい」の店だ。江の島は標高が60mあり、登りがきついが、アフタヌーンパスがあるので、エスカーでらくらく頂上へ。

頂上の庭園「サムエルコッキング苑」では12月なのにチューリップが咲いている。さらに歩くと展望台「シーキャンドル」があり、エレベーター乗り場では大勢の人が並んでいた。15分くらい待って、屋上に到着。夕暮れの湘南を見渡していると、17時になり、辺り一面にイルミネーションが点灯した。実はこの江の島一帯は関東3大イルミネーションに数えられる場所なのだ。階段で展望台を降りる。見上げるとシーキャンドルは紫に光り、ステージからはゴスペルの合唱が聞こえる。目と耳でクリスマスを楽しんだ。

大満足して江の島駅に戻り、藤沢、横浜で乗り換え、桜木町へ。「みなとみらい」から歩いて、赤レンガ倉庫に着くと、クリスマスマーケット開催中で、ごったがえしている。大きなクリスマスツリーを見た後、山下公園を經由して中華街へ。道端で「焼き小籠包」を食べ、「聘珍楼」でこの店発祥のサンマー麺(もやし、白菜、豚肉などのあんかけラーメン)と海鮮おかゆをいただいた。横浜中華街を代表する名店のおかゆは、米が原形を留めないくらい、トロトロで美味であった。

